

平成30年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	Joy of Music (教育芸術社)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「鑑賞」の3つの分野を年間通して学習します。
- ・音楽Ⅰ、Ⅱで取得した技術をさらに発展させ、合唱や合奏の楽しみを味わうことを目指します。又、将来にわたって音楽を楽しむための読譜力、表現力を身につけ、個性豊かな表現や積極的に音楽を楽しむ姿勢を養います。
- ・学習の到達度は、実技テストのほか、ノートやプリントの提出、授業の取り組みへの積極性で評価します。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

合唱、器楽とも、表現内容に応じて、発声や奏法を工夫し、様々な形態において、曲の構成および曲想をいかした創造的な表現を目指す。音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 筆記テスト	演奏の聴取	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	ハーモニーを味わって豊かな声で歌いあげよう	歌唱 合唱 ハナミズキ 手紙	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	器楽 ミュージックベル	○	○	○		a: ミュージックベルの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: ミュージックベルの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2 学期	原語の美しい語感を生かして表現しよう	歌唱 最後の歌 (斉唱、原語)	○	○	○		a: 「最後の歌」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 「最後の歌」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、イタリア語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	ギター合奏	ギター合奏 スタンドバイミー	○	○	○		a: ギターの特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: ギターの特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取

3 学 期	音楽を聴く力をつけよう	鑑賞 映画鑑賞「青 い鳥」	○			○	a: 映画で使用される音楽の表現上の効果に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	ハーモニーや言葉の響きを感じ取って 歌おう	合唱 桜ノ雨	○	○	○		a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	器楽 アンサンブル	○	○	○		a: a: アンサンブルに関心を持ち、コミュニケーションを取りながら演奏することに主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c: アンサンブルをするために必要な基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。